

(1～4 年次共通)

授 業 科 目 名	備 考
資格ドイツ語/フランス語/中国語	具体的な内容についてはシラバス参照

注) 1 年次から 4 年次にわたって毎年履修することができ、受講数に上限はない。同一時期に受講できるのは 1 科目までとする。

(1～4 年次共通)

授 業 科 目	留 学 先	備 考
留 学 英 語	マニトバ大学 モナッシュ大学 セント・マイケルズ・カレッジ	それぞれの大学で短期留学に参加し、応用発展科目の単位を修得しようとする者は、決められた時期にこの科目の登録を申し出なければならない。 なお、本学において指導は行うが、授業は行わない。
留 学 中 国 語	南開大學 復旦大學	

注 1) 留学先が異なれば、留学には複数回参加できる。

注 2) 「留学英語」および「留学中国語」として単位が認定されるのは同一言語内において 2 科目 4 単位までである。

注 3) 人間開発学部の学生に関しては、3 年次からの単位認定となる。

(1～4 年次)

授 業 科 目 名	備 考	
Advanced English	上級英語	英語応用能力を高めるためのクラス

注) 1～4 年次にわたって毎年履修することができ、受講数に上限はない。同一科目であっても重複して受講できる。

## (2) 発展スポーツ ・身体文化科目

スポーツ・身体文化Ⅱは、科学的小および文化的側面から、スポーツや健康・体力に関する各人の興味と関心とを実践的に、より深く掘り下げることを目的とする選択科目（応用発展科目）である。2 年次以降に履修することができる。毎週 1 回（2 時間）前期または後期をもって 1 単位とし、単位認定の基礎条件として、10 回以上の出席が要求される。

注 1) スポーツ・身体文化Ⅱは、スポーツ・身体文化ⅠA およびⅠB の両方を修得済みの者のみが履修できる。

注 2) スポーツ・身体文化Ⅱは同じ種目であっても複数受講できる。  
ただし、卒業に要する単位に算入できるのは 8 科目 8 単位までとする。

注 3) 人間開発学部の学生に関しては、3 年次からの開講。

## (3) 単位認定科目

### 1) TOEIC・TOFEL の単位認定

TOEIC・TOFEL において所定の成績を修めた者は、以下の科目の単位を認定する。

検定・資格	認定科目名	単位数	評価
TOEIC 500 点以上または TOFEL 50 点以上 (iBT) を取得	英語検定試験 (中級)	2 単位	N (認定)
TOEIC 650 点以上または TOFEL 70 点以上 (iBT) を取得	英語検定試験 (上級)	2 単位	N (認定)

注 1) 上記 2 科目の単位を希望する者は、前期・後期履修登録期間に教務課に公式認定証とそのコピーを持参し、コピーを教務課に提出すること。

注 2) 上記 2 科目はそれぞれ重複して単位を取得することはできない。

注 3) 上記 2 科目のうち、「英語検定試験 (上級)」の認定基準を満たしている者は「英語検定試験 (中級)」の認定基準も満たしていることになるので同時に 2 科目 4 単位が認定される。ただし、すでに「英語検定試験 (中級)」の単位を修得済みの者は、重複してその単位を取得することは出来ない。

2) 単位互換制度によって修得した単位は 12 単位までを教養総合科目の卒業要件単位 36 単位以上 (人間開発学部は 26 単位以上) のうちに算入することができる。